

● 6月28日(月) 快晴 移動(富良野からトムラウシ山登山口) 登山口泊

・今日も朝から快晴。富良野岳から十勝岳の山並みがくっきりと見える。今日は寝坊して今7時。

もう皆さん出かけていって食堂には誰もいない。ご飯にふりかけとみそ汁で軽い朝食、コーヒーを飲みながらゆっくりしている。今日も天気が良くて猛暑、3日続けて山に登ったので今日は脚に休養を与えてやろうと、移動日にした。吹上温泉を離れ芦別岳を目指そうと思う。



3泊した白銀荘とお別れ

・宿泊の精算を済ませ山を下ったが途中白銀荘のお姉さん?に教えてもらった「青い池」へ寄ってみたが、たいしたことない池だった。上富良野にある日の出オートキャンプ場にコインランドリーがあると聞いたので、そこに寄って今までの汗だらけの衣類を洗濯した。受付のお姉さんはなかなか感じのいい人で、コインを入れ間違えたらすぐ対応してくれた。



どってことない「青い池」

真夏の太陽が照りつけてなにしろ暑い。洗濯・乾燥があがるまで日陰のベンチで日記を書いたり、夕張岳へのダートを走ったので泥だらけになっている車をバケツで水を運んで洗ったりして待っていたが、暑くて汗が吹き出してきた。ゆっくりと時間をかけて洗濯・乾燥をし、芦別岳の麓のふれあいセンターを目差して出発し国道38号線を南下した。

・相変わらず強烈な日差しの中ふれあいセンターにあった東屋で日差しを避け、途中で買ってきた割子そばで昼食を取った。携帯で天気予報をみたら、明日までは天気が持つが明後日からは下り坂と言う。今回の北海道山紀行の目的は、①ユウバリソウを見ること(これは達成した)②トムラウシ山に登ることであり、天気の良いうちにトムラウシ山に登ってしまいたい。



炎天下の日の出オートキャンプ場

誕生日の7月3日に登る予定で計画し、東大雪荘の予約をしてあるが、明日登ってしまおうと考えた。そこですぐ東大雪荘に電話し、日にちの変更をお願いしたら即OK！明日トムラウシ山に登って明晩東大雪荘泊と計画変更した。そうなれば今日はトムラウシ温泉の登山口目差して車をはしらせるのみ。

・灼熱の国道（酷道）38号線、車は少なく快走、狩勝峠を越えてサホロリゾートの前を通り新得町で718号線に入り、トムラウシ温泉に向けて延々と北上した。新得町では何年か前に給油したことがあるガソリンスタンドの前を通り懐かしかった。3時頃トムラウシ温泉に到着、山小屋かと思っていた東大雪荘はなんと立派なホテルだった！こんな山奥にこんな立派なホテルがあるとは、百名山ブームの産物か？ホテルに寄って先ほど芦別から電話した予約変更の確認をとり、トムラウシ短縮コースの登山口へ向かった。ここからはダートを8kmも走った。

・登山口はかなり広くて草地もあり、バイオトイレが完備していた。



トムラウシ山短縮コース登山口広場：バイオトイレも完備している

3時過ぎに着いたが10台くらいの車が止まっていて、山から下ってきた人がポツポツ現れそれぞれ車で下っていった。長岡ナンバーの車のご夫婦は「百名山ハント」中、今日の行程の様子を色々聞いて参考になった。

車がみんな下って行って私の車1台取り残された。今晚はここで一人で寝るのかよ？！

長崎ナンバーの車が上がってきて草地にテントを張った。こちらも「百名山ハント」中の男性3人組。これで寂しくは無くなった。空に雲が出てきていやな感じ、天気予報では明日は晴れる、信じよう。

・缶ビール2缶、とりの唐揚げ、煮卵、焼きうどんが肴、千切りキャベツ入り醤油ラーメンがメインディッシュの夕食を済ませ、現在5時半。外はまだ明々としているがそろそろ寝るか、明日は早いぞ。また車が1台上ってきた。後何台かは来そう。外はブヨと蚊がワンワン飛んでいる、飯の時だいぶ刺されたが、もう慣れっこになった。でもかゆい！ おやすみ

● 6月29日（火） 晴 トムラウシ山 東大雪荘泊

・とうとうトムラウシ山に登ることになり興奮したのか昨夜は何回もトイレに起きてあまり寝ていない気がする。3時に目覚まして起こされ周りを見ると車3台、もうみんな登山準備をしている。空を見上げると天気はマアマアのような。3時半過ぎにはみんな出て行って私一人残された。おきまりのサンドイッチ、牛乳、コーヒーの朝食後、ゆっくりトイレに入り、3時50分に出発した。ちょうどレンタカーが一台登ってきてもう一組登山者が増えた。

・夜が明けてみれば幸いにも天気は快晴！ はじめのうちは蚊が多く例のネットを被って歩いたが暑くてやりきれない。そのうち登るにつれ蚊もいなくなった。



短縮コースの分岐



前方に先行パーティーの影を見つけた

・わたしのすぐ前に九州の男3人組とご夫婦の2パーティーが出ていったが、なんとか追いつきたいと思ったがやはり皆さん健脚らしくなかなか姿が見えない。トム平への沢には雪がいっぱいで大雪渓が続く。やっと前方に2パーティーの影を見つけた。雪渓の上にはトレースが不鮮明で何本も走っている。昨年大雪山の緑岳の雪渓で学習した「赤いベンガラ」のマークはここには無い。雪渓を上り詰めるものと思って左の方のトレースを辿っていたら、途中から右側の岩場にとりつくのが正規ルート。前のご夫婦はちゃんと正規ルートをとって岩場をトム平に向かって登っている。せっかく登ってきた雪渓をしばらく下って右トレースに踏み換えて登り直し



長い雪渓でトレースが何筋もある



エゾコザクラが咲く気持ちの良い道



この岩場にとりつく！赤テープがヒラヒラ

約20分のロスとなった。よく見ると岩場のとりつきの木に小さな赤いテープがひらひらしている。参ったね。

・トム平から先はそんなに標高差は無く、天気も良くて視界も良いし、大きな雪渓も無いので快調に山頂を目差して歩いた。エゾコザクラ、コマクサ、イワウメ、ミヤマキンバイ、チングル



チングルマのお花畑と十勝連山の遠望



トムラウシ山山頂下の十勝岳分岐

マなどなど花がいっぱいで、遠くには昨日まで居た十勝連山が尾根続きで連なっている、夢の世界に居るような楽しい道だ。

・9時過ぎに山頂に立った。今年の最大目標の達成だ！山頂には例のご夫婦と九州の3人男とそれに私の3組のみ。写真を撮りあったり景色に感動したりして至福の時を過ごした。皆さんすぐに下っていったので、私一人でこの贅沢な山頂をしばらく占拠した。北を見ると残雪の多い大雪山の広大な山並みが広がっていて、東を見ると石狩山地、ニペソツ山、ウペペサンケ山がそびえ立ち、南には十勝連山が尾根続きで眺められる。すごい！



トムラウシ山頂に立った！（上左） 南方には十勝連山が尾根続きで望まれる（上右）  
北を見ると残雪の多い大雪山系の広大な山並みが広がっている（下）

・名残惜しいが10時前に下山開始。ツアーだろうか20人くらいの団体とすれ違った。山頂で一緒にならなくて良かった。お花畑と十勝連山の眺めを楽しみながらトム平まで下り、ここから展望もお花もない一気の下りとなるため、ここでトムラウシ山を見ながら昼食を取った。真夏の太陽が容赦なく照りつけてメチャ暑い、だんだん雲が出てくるようになり、時折山頂が雲で隠れるようになってきた。なにしろ行程が長い、ひたすら歩いて2時半前にやっと登山口へ到着した。



下り始めると団体が登ってきた



トム平で昼食休憩・日差しが暑いが雲が湧いてきた



登山口駐車場に無事帰還

全行程11時間弱かかったが、天気が良く花がいっぱいの楽しい山旅だった。

・今日は東大雪荘泊まり。3時過ぎにチェックインし311号室に落ち着いた。まず汗と疲れを流すため風呂へ飛び込んだ。大きいしきれいだし、何しろ湯加減が最適で最高に気持ちが良い。さらに露天風呂がこれまた気持ちいい。今日の疲れをゆっくり癒すことができた。コインランドリーも設備されていたので利用した。山帰りの人が多いためかランドリーは順番待ちの盛況、乾燥不十分のまま取り出してあとは車の中に持ち込み車内乾燥とした。

・6時半から夕食、久しぶりの外食(宿食)だ。広い食堂が客でいっぱい、九州の男3人組が奥の座敷で騒いでいる。やはりみんな下山後はここで祝杯を挙げるらしい。料理は品数も多いし内容も贅沢で旨かった。生ビールに2合の熱燗でトムラウシ山制覇と数日早い古希の祝いを兼ねて一人で祝杯を挙げた。食後九州の男3人組の席に顔を出しいろいろ話が弾んで楽しい時を過ごして8時過ぎ解散した。今日は良い日だった、酔いが回り良い気分で眠りについた。

\*トムラウシ山登山を当初予定の「7月3日・誕生日古希記念登山」から今日6月29日に変更したのは大成功だったと思う。4日も早く古希の祝いをしてしまった。バンザイ！

[トムラウシ山について]：今まで大雪山では赤岳、黒岳、小泉岳など北の山々を登ってきた。そのたびに遙か南方遠くに美しい王冠型のトムラウシ山を望み、昨年は大遭難事件を起こすなど私には無縁の山と思っていた山だが、とうとう登ることが出来た。

本を見たり人の話を聞いたりして、トムラウシ山は数多くの珍しい高山植物に囲まれ花いっぱい  
の美しい山だと夢見ていたが、実際登って見たらイワウメ、ハクサンイチゲ、チングルマ、コマクサなどのありふれた花が多く、それも岩だらけの山肌に疎らに咲いている状態で、若干期待外れだった。期待が大きすぎたのか。

南から攻めないで北からの表玄関から攻めればもっと美しい山だったのかもしれない。

富士山と同じようにトムラウシ山もその美しい王冠型の山容を遠くから眺めている方が  
良いようだ。

でも 快晴のもとトムラウシ山に登れたことはすばらしかった。感謝！